市立室蘭総合病院医誌投稿規定

- I 種類:学術論文の欄と各種記事の欄を設ける。
 - A. 学術論文の欄は邦文または英文の総説、原著、症 例報告とする。
 - B. 各種記事の欄は病理解剖症例概要、研究会・研修 会記録、業務活動報告、年間業績集、その他とする。

Ⅱ 制 限:

- A. 論文はすべて未発表のものに限る。
- B. 総説は特に編集部より依頼したものの他、関係各位の寄稿も受け付ける。
- C. 枚数:図、写真、表を含めて一応の基準を次の通りとする。
 - 1. 邦文:原稿はワードプロセッサーを用い、横 書きでA4判の用紙に行間を充分にとって印 字する。400字詰め原稿用紙に換算して原著 30枚以内、症例報告20枚以内、院内研究会記 録2枚以内、各種業務活動報告5枚以内。
 - 2. 欧文: A 4 判用紙に上下、左右に十分な余白 をとってダブルスペース 28 行以内で原著 30 枚、症例報告 10 枚以内。

Ⅲ 体 裁:

- A. 1. 論文には表紙を付け、表題を記載し、著者・ 共著者の氏名および、所属を記載する。
 - 「要旨」と「キーワード」を2枚目に記載する。 要旨の字数は約600字以内とし、キーワード は5個以内とする。
 - 3. 論文の体裁は、原則として「緒言」、「対象・ 方法」、「結果」、「考察」、「結語」、「文献」、「図」、 「表」、「図表の説明」とし、表紙から通し頁番 号をふる。
 - 4. 述語は日本医学用語整理委員会選定の医学用語を、数字は算用数字を用い、単位は次に準ずる。m, cm, mm, μ , cm², cm³, L, dL, mL, kg, g, mg, μ g, γ
 - 5. 文献、外国人名、地名、薬品名は必ず原語を 用い、外国語は明瞭なフォントを用いること。
 - 6. 図表の原稿は黒インクを使用し明瞭なプリンター印刷とする。原稿には表題を付け、一連番号(図○、表○など)を付ける。サイズは15×20 cm~20×30 cm程度とする。また、複数の写真を含む図(組み写真)は a、b、c……で表記する。(図○a、図○bなど)
 - 7. 図、表など挿入箇所は本文原稿の欄外に図○、 表○を朱書する。
 - 8. 図表、写真は一つが 400 字詰め原稿用紙 1 枚 とみなす。
 - 9. 原稿提出時には、内容の全てを電子媒体に保存して添付する。
- B. 引用文献の書き方は次の形式とする。
 - 1. 本文に肩付けした引用番号で示し、記載順序は引用順とし、1,2,3)の書式とする。また著者名が複数の場合には、省略せず全員を記載する。
 - 雑誌の場合 著者名:題名.雑誌名 巻:頁-頁,発行年

(西暦)

外国誌は Index medicus、邦文誌は医学中央 雑誌による略名を使用する。

3. 単行本の場合 著者名:題名.編者名.書名.版数.頁-頁, 発行所,発行地,発行年(西曆).

例:

- 1)池田理恵,鳥井孝明,福岡将匡,曳田信一, 安達健生,小林博昭,東海林哲郎,高木伸 之,木村希望:心陰影異常を契機に発見され た巨大冠動脈瘤を伴う冠動脈肺動脈瘻の一 例,室蘭病医誌 27: 27-30, 2002.
- 2) Pereira-Lima JC, Busnello JV, Saul C, Toneloto EB, Lopes CV, Rynkowski CB, Blaya C: High power setting argon plasma coagulation for the eradication of Barrett's esophagus. Am J Gastroenterol 95: 1661– 1668, 2000.
- 3) 澤田典均:遺伝子の大腸癌とがん化への多段階変化.森 道夫編.病気と分子細胞生物学.p.110-122,メディカルサイエンスインターナショナル,東京,2002.
- Falk JL, Rackow EC, Weil MH: Colloid and crystalloid fluid resuscitation. In: Shoemaker WC, Ayres SA, Grenvik A. eds. Textbook of Critical Care. 2nd ed. p. 1055– 1073, Saunders, Philadelphia, 1989.
- 5) Curhan GC: Kidney stones in adults: Epidemiology and risk factors. UpToDate. Accessed 04 January 2024. Available from https://www.uptodate.com/contents/kidney-stones-in-adults-epidemiology-and-risk-factors.
- 4. 参考文献は必要最小限にすること。

IV その他

- A. 論文の採否は編集委員会が決定する。
- B. 論文の校正は著者校正を原則とする。
- C. 一論文に対し、別刷 30 部無料配布し、他は有料とする。
- D. 論文等の著作権(著作権法27条 翻訳権、翻案権等、28条 二次的著作物の利用に関する原著作者の権利)は、当院に帰属させて頂きます。
- E. 当院は、当該論文等の全部または一部を、当院ホームページ、当院が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において任意の言語で掲載、出版(電子出版を含む)出来るものとします。この場合、必要により当該論文の抄録等を作成して付すことがあります。
- F. 投稿、編集などに関する問い合わせは下記に願います。

市立室蘭総合病院 医局図書室内 市立室蘭総合病院医誌編集室 TEL.0143-25-3111 (2270)